

令和4年度 中学生 税に関する作文

～公益社団法人宇和島法人会長賞 受賞作品～

高知県宿毛市愛媛県南宇和郡愛南町
篠山小中学校組合立篠山中学校 3年生 岡原 美空 さん

「税金は何のために」

私たちが借金をしているなんて！

これは、租税教室で私が一番驚いた事実です。

先日の租税教室は、私たちが目をつむってはいけなことを本当に考えさせられました。特に印象に残っているのが国債費です。令和4年度の国の歳出当初予算のうち、22.6%、つまり、214兆3,392億円が国債費に使われていることを知りました。国債費とは、国の借金である国債の償還や利子の返済のために充てる費用です。私は、それまで国に借金があるなんて思いもしませんでした。しかも、利子も払っているなんて。お金を借りたら利子を付けて返すのは理解できます。それを国がしていることに驚き、日本の政府は大丈夫なのかと心配にもなりました。だから、国債を発行しなければ借金もないし、利子を払わなくてもいいし、その24兆を日本の必要なことに使うといいのにと考えました。

そこで、国の歳入を見てみるともっと驚きました。歳入総額107兆5964億円のうち、国債を発行して得ているお金が、約3割を占めていました。日本には約50種類の税金があり、私たちは納税をしています。私も消費税を納めています。しかし、現在、私たちが暮らしていくためには十分ではなく、それを国が国債でカバーしている状態だということが分かりました。そして、それを毎年毎年返しているということも。このままだと、日本は借金まみれになり、利息だけで、私たちが納めた税金がほとんど使われてしまうかもしれません。そして、国債の発行を止めた場合、公共のサービスは低下し、社会保障ができなくなります。

少子高齢化社会の現在、私たち国民が払える税金には限りがあります。警察・消防署には、国民一人当たり年間約4万円の税金が使われています。医療費も約13万円が使われています。だからこそ安心して利用できるのです。

では、私たちはどうすればいいのでしょうか。やはり、税金を必ず納めることです。納税は、国民の三大義務でもあり、日本国憲法第30条にも載っています。次に、無駄に税金を使わないことです。例えば、学校にある全てのもの、電気、水道さえも税金が使われています。愛南町の学校はどこも夏にはエアコンが付いていて快適に学習できます。しかし、涼しいのにエアコンを付けたり、誰もいない教室で消し忘れたりするのはもったいないです。税金を納めるとき、きっと皆さんは、税金を本当に必要なところへ使ってほしいと思います。無駄を省き、将来の借金をできるだけ増やさないう、私たち一人一人が考えて使うことを意識していきたいです。